

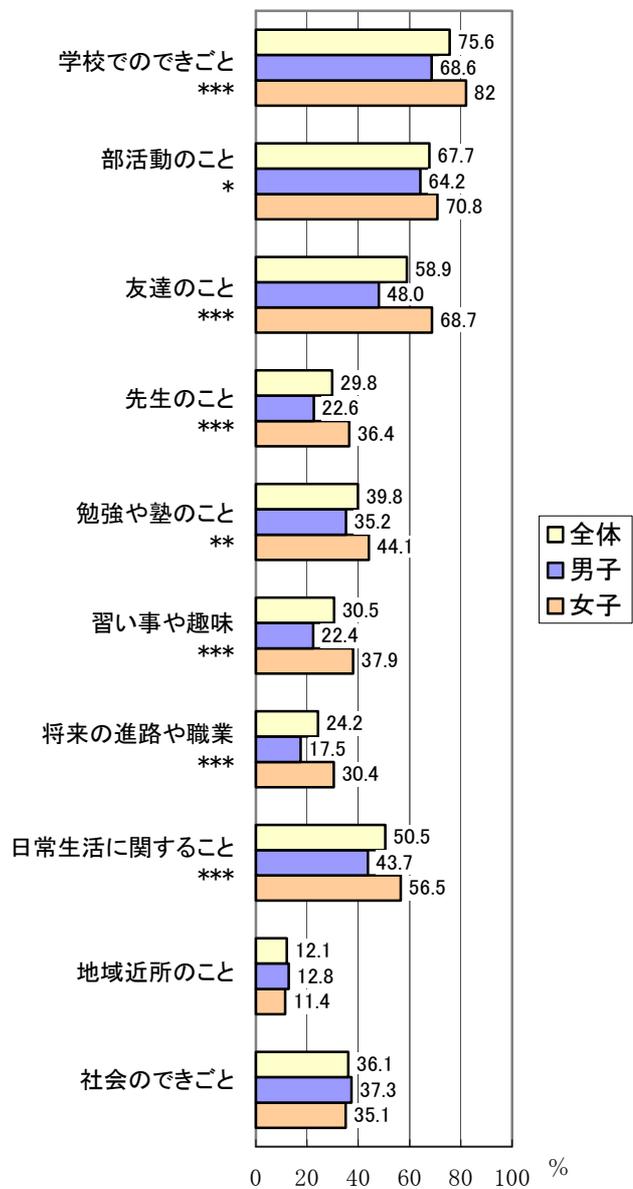
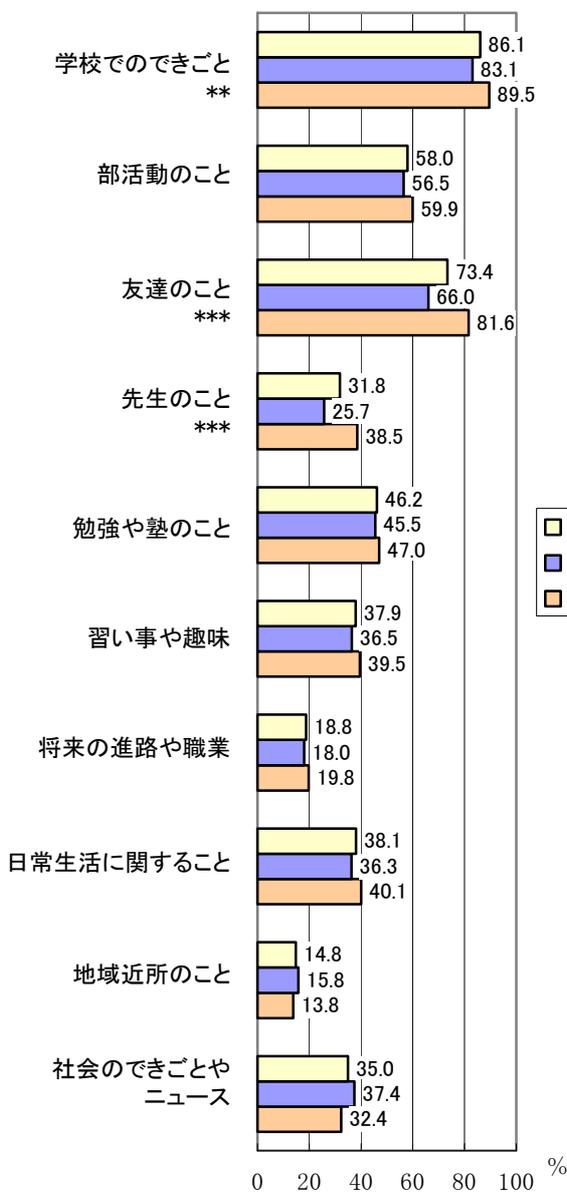
3. 家族との関係・家庭での生活

(1) 家庭での会話の内容

子どもたちが家庭でどのような話をしているかは、図 3-1-1、図 3-1-2 のとおりである。「学校でのできごと」、「友達のこと」、「部活動のこと」が多く、とくに「友達のこと」は、中2より小5の方が話をする子どもの割合が高い。男女別では、小5では「学校でのできごと」、「友達のこと」、「先生のこと」について、中2では、それに加えて「部活動のこと」、「勉強や塾のこと」、「習い事や趣味のこと」、「将来の進路や職業」、「日常生活に関すること」について、男子より女子の方が話をする割合が高かった。

図 3-1-1 家族と話す内容（小5）

図 3-1-2 家族と話す内容（中2）

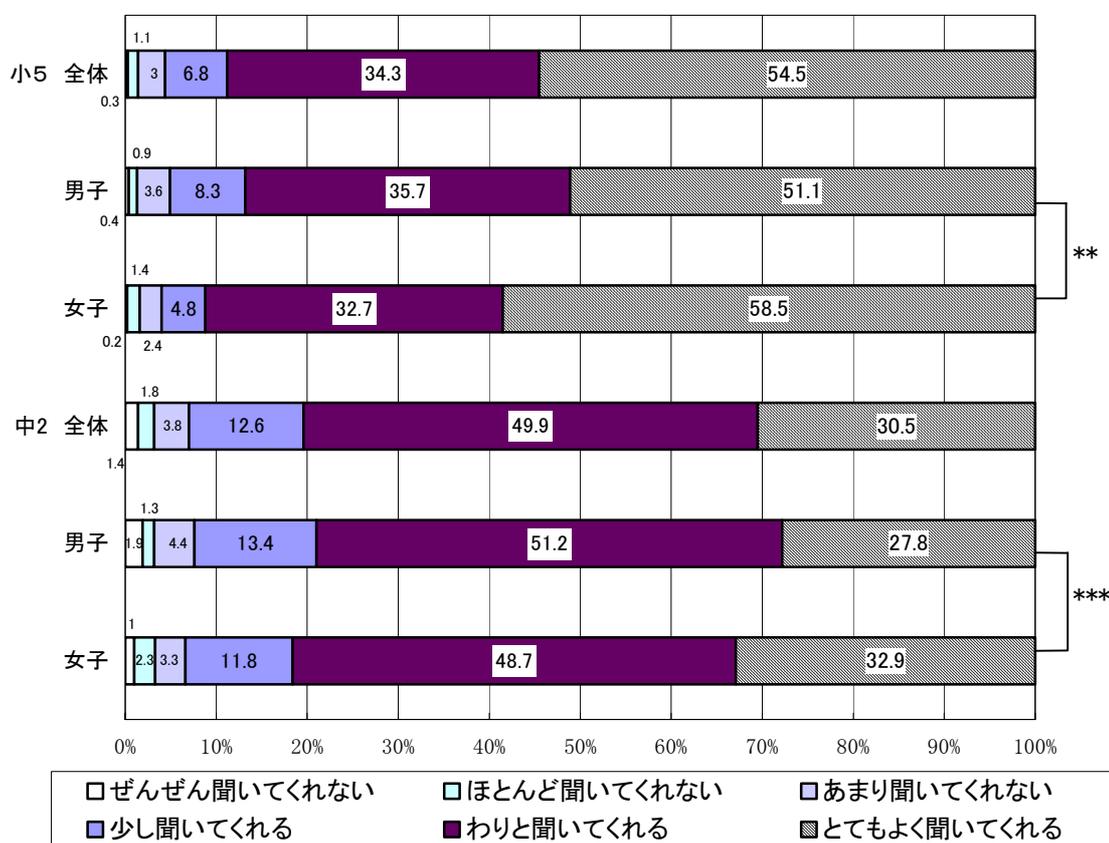


(2) 父母は話を聞いてくれるか

お父さんやお母さんが話を聞いてくれるかどうかでは、小5で9割、中2で8割は、「とてもよく聞いてくれる」、「わりと聞いてくれる」と答えている（図3-2-1）。「とてもよく聞いてくれる」は、小5で5割いるが、中2では3割に減っている。男女別では、小5、中2とも、女子の方が聞いてくれる家庭が多い。

「ぜんぜん聞いてくれない」、「ほとんど聞いてくれない」、「あまり聞いてくれない」を合わせても、小5で4%、中2で7%と少ないが、自由記述では、「家族に気持ちを知ってほしい」、「もっと話しかけてほしい」、「話を聞いてくれないし、聞いてもわかってくれない」というものもあった。

図3-2-1 父母は話を聞いてくれるか



(3) 家のことで困っていることや嫌なこと

家のことで困っていることや嫌なことがあるかどうかは、「ある」が小5で2割弱、中2で3割あった。男女別では、中2で男子より女子に「ある」が多くみられた(図3-3-1)。

家庭で感じている嫌なことの内容は、嫌なことがないと答えた人も含めて全員に複数選択で回答してもらったところ、図3-3-2のようであった。「とくにない」は、小5で48%、中2で33%であり、小5の5割、中2の7割の子どもが、1つ以上の項目を選択し回答している。

小5では、「きょうだいと気が合わない」、「勉強しなさいとうるさく言われる」、「家の中で言い争うことがある」が多く、中2では、「勉強しなさいとうるさく言われる」、「家の中で言い争うことがある」が多く、小5に比べても多くなっている。次いで、「お小遣いが少ない」、「親が何でもすぐに口出しをする」、「親が気持ちをわかってくれない」なども多い。

中2で自分専用の部屋を持っているかどうかとの関連をみると、専用の部屋を持っている子どもより、持っていない子どもの方に「家の中で言い争うことがある」、「親にたたかれたりする」をあげた子どもの割合が高かった(図3-3-3、図3-3-4)。

図3-3-1 家のことで困っていることや嫌なこと

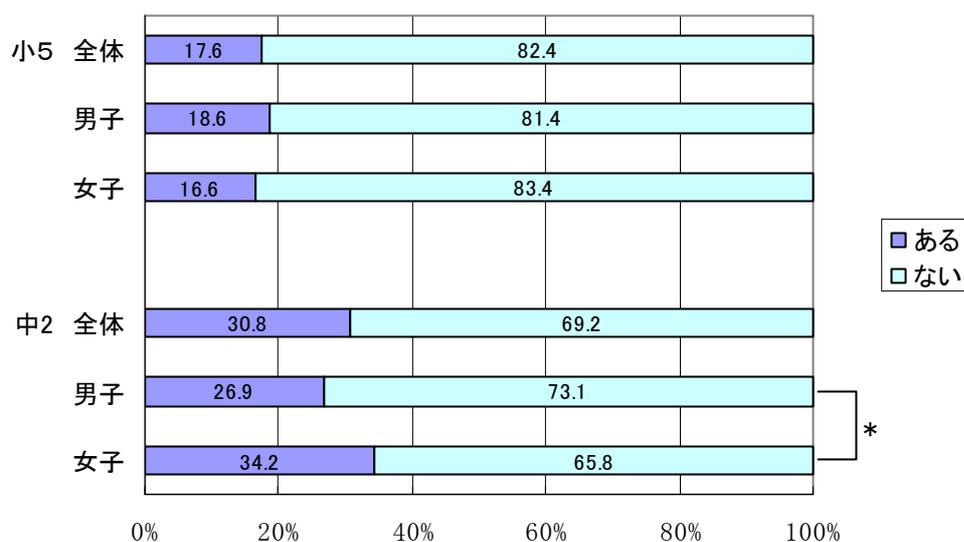


図 3-3-2 家庭で嫌なことの内容

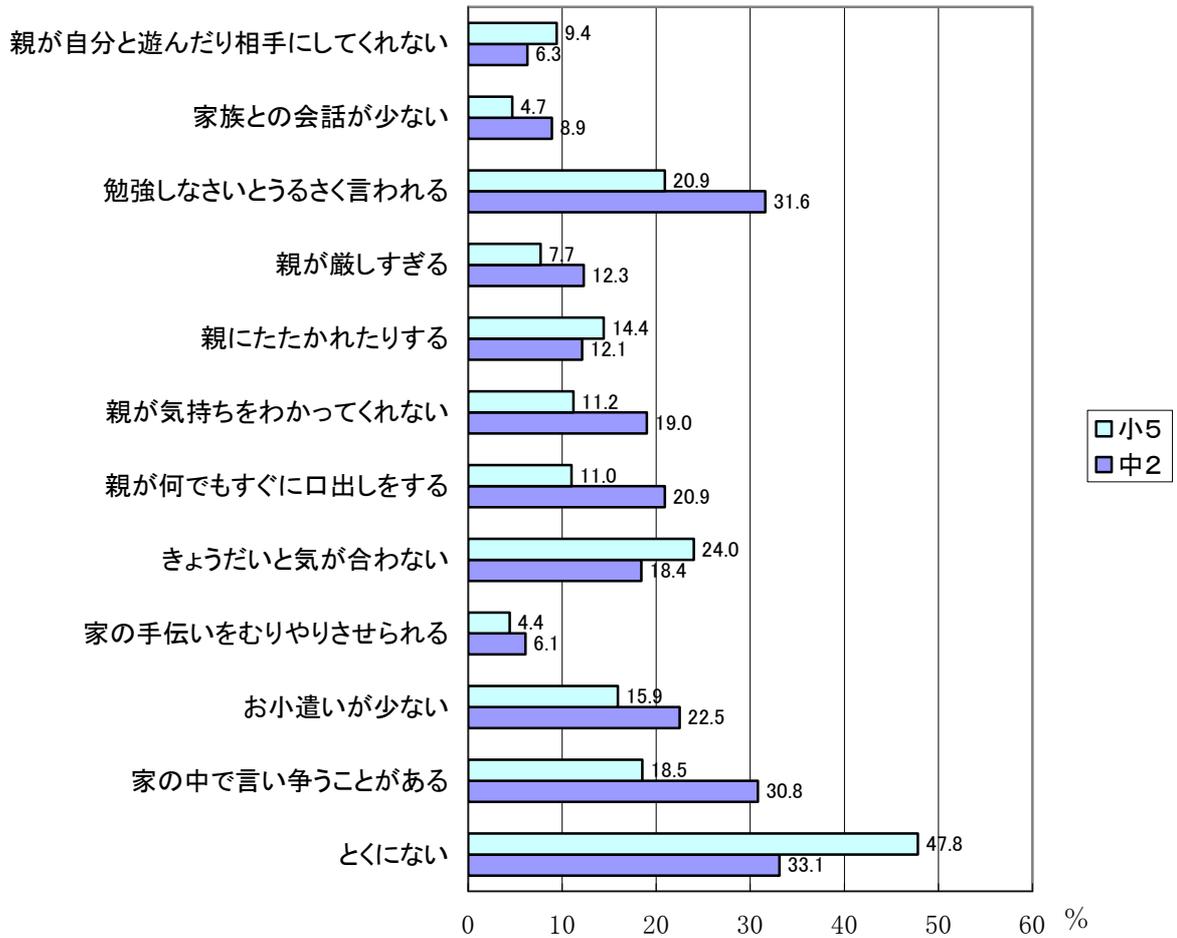


図 3-3-3 自分専用の部屋の有無と「家の中で言い争うことがある」の関連 (中2)

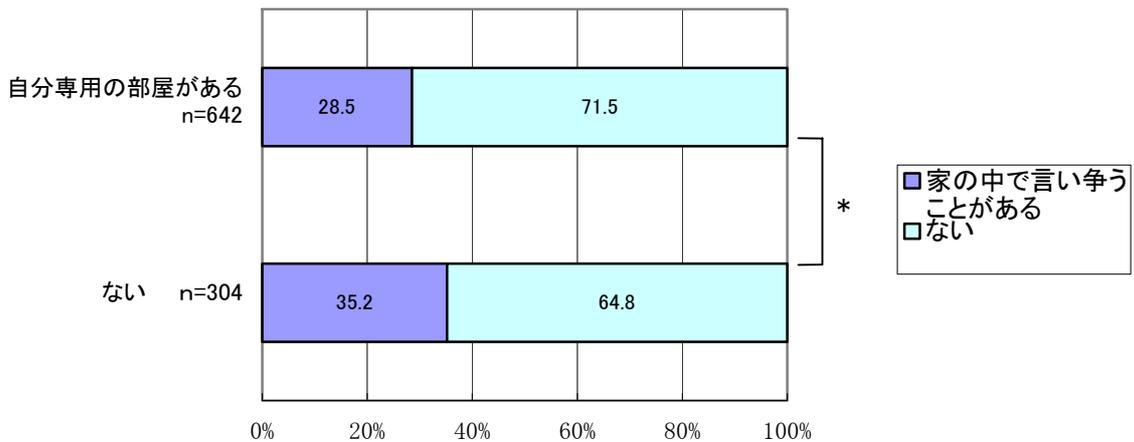
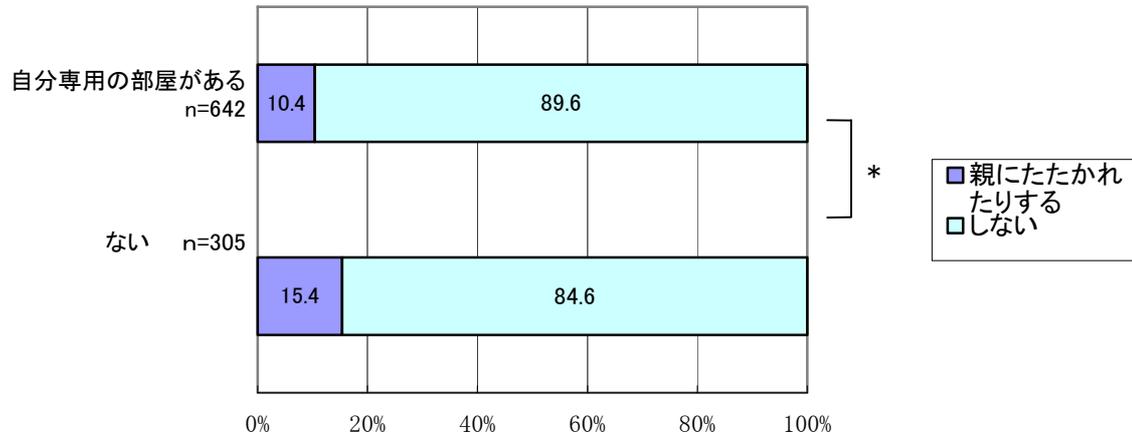


図 3-3-4 自分専用の部屋の有無と「親にたたかれたりする」の関連（中2）



(4) 塾や習い事の日数

塾や習い事に週に何日通っているかについては、図 3-4-1、図 3-4-2 のとおりである。小5 全体では、通っていない子どもが1割ほど、4分の1ほどの子どもは5日以上通っている。中2 全体では、通っていない子どもが3割で、2割の子どもは4日以上通っている。中学生になると、部活動などが忙しくなるのではないかと考えられる。

男女別にみると、中2で、男子より女子に塾や習い事に通う日数が多い傾向にあった（図 3-4-2）。

図 3-4-1 塾や習い事の日数（小5）

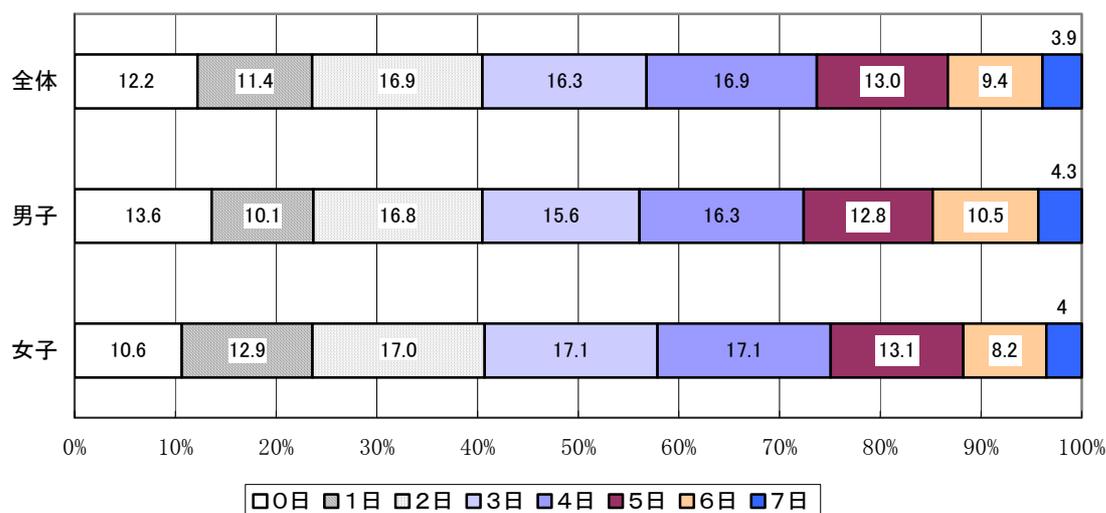
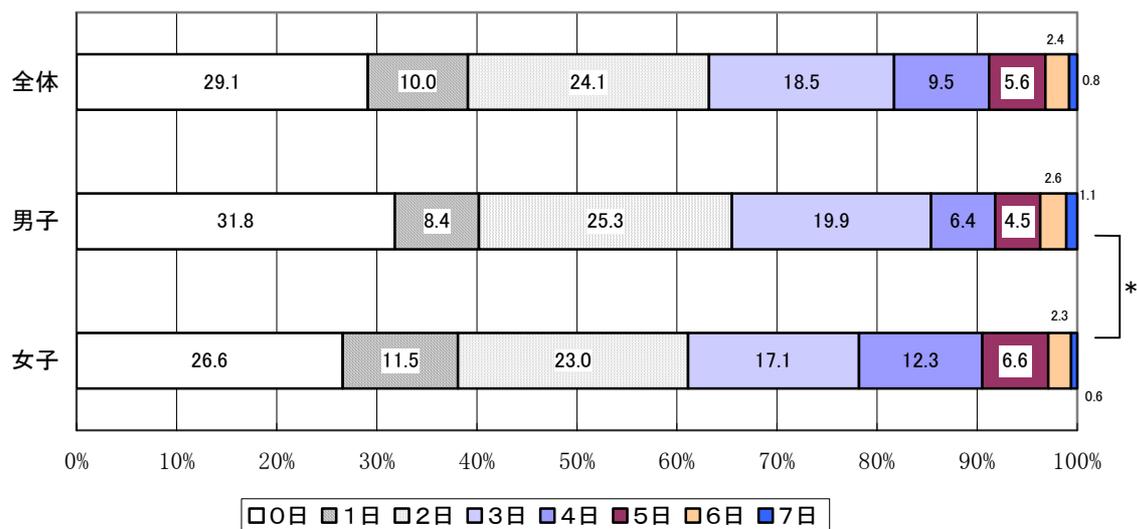


図 3-4-2 塾や習い事の日数（中2）



(5) 就寝時間

就寝時間については、小5全体では、5割が10時ごろまでに就寝しているが、11時半以降も16%あった。中2全体では、5割が11時ごろまでに寝ているが、12時半以降も19%あった。とくに中2で、女子の方が男子より、就寝時間が遅い子ども多くなっている(図3-5-1)。

なお、中2には、睡眠時間を時間・分で回答してもらったところ、平均睡眠時間は、6時間58分(男子7時間11分、女子6時間47分)であった。

「昼間に眠たかったこと」が、「いつもだった」は、小5で1割、中2で3割あった。眠たかったことが「ぜんぜんなかった」は、小5で36%、中2で10%しかなかった(図3-5-2)。就寝時間と「昼間に眠たかったこと」があるかどうかとの関連をみたのが、図3-5-3、図3-5-4である。小5では、「11時半以降就寝」の子どものうち、眠いことが「いつもだった」は2割、「よくあった」と合わせると4割となっている。中2では、「12時半以降就寝」の子どものうち、5割は眠たかったことが「いつもだった」であり、「よくあった」と合わせると7割になっている。遅い就寝により昼間眠たくなっている子どもがいる。

また、塾や習い事との関係では、小5で塾や習い事に週5日以上通っている子どもの割合は、「11時ごろまでに就寝」する子どもよりも「11時半以降就寝」の子どもの方に高く、36%であった(図3-5-5)。

図3-5-1 就寝時間

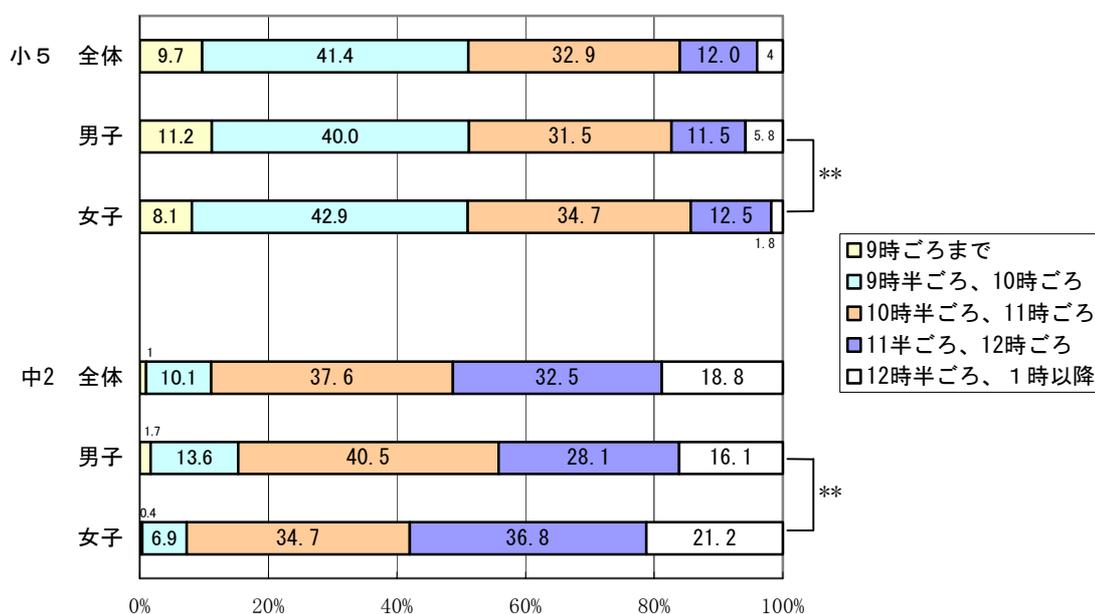


図 3-5-2 昼間に眠たかったこと

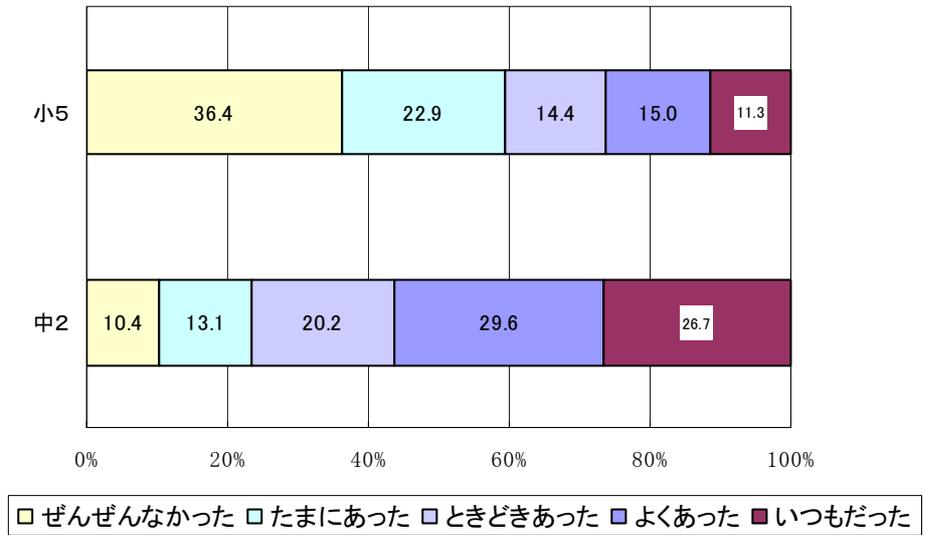


図 3-5-3 就寝時間と「昼間に眠たかったこと」の関連（小5）

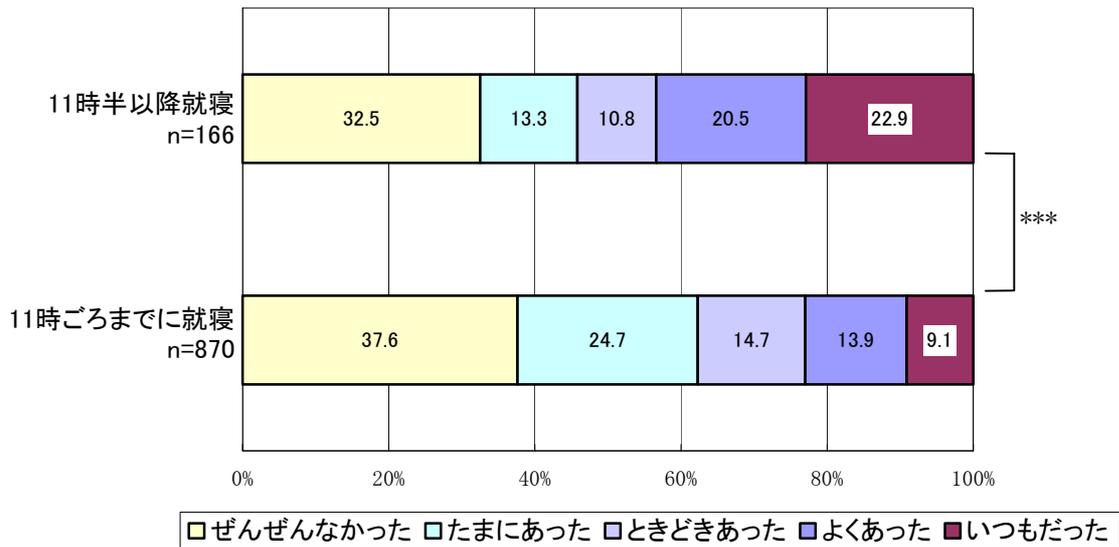


図 3-5-4 就寝時間と「昼間に眠たかったこと」の関連（中2）

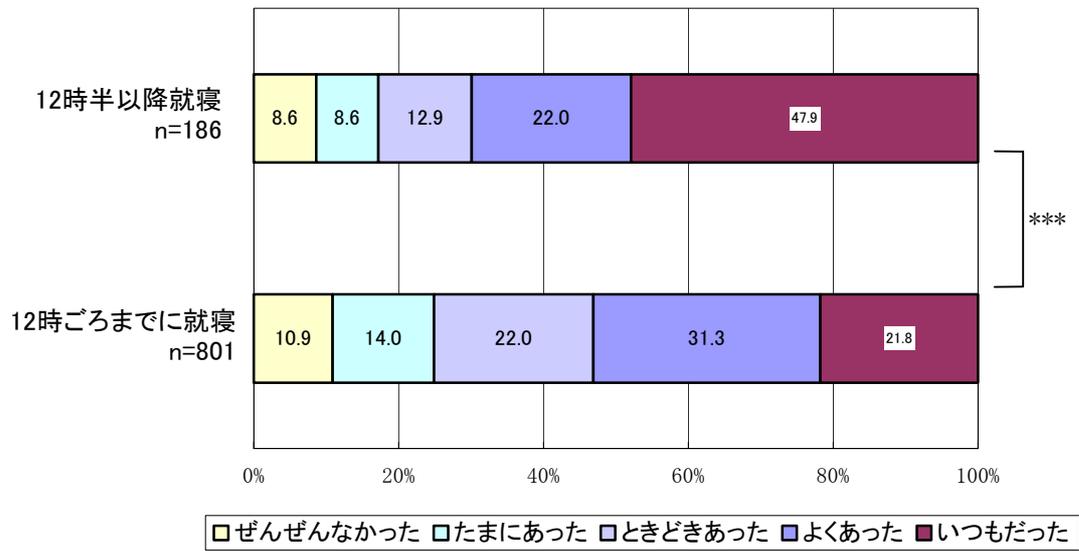
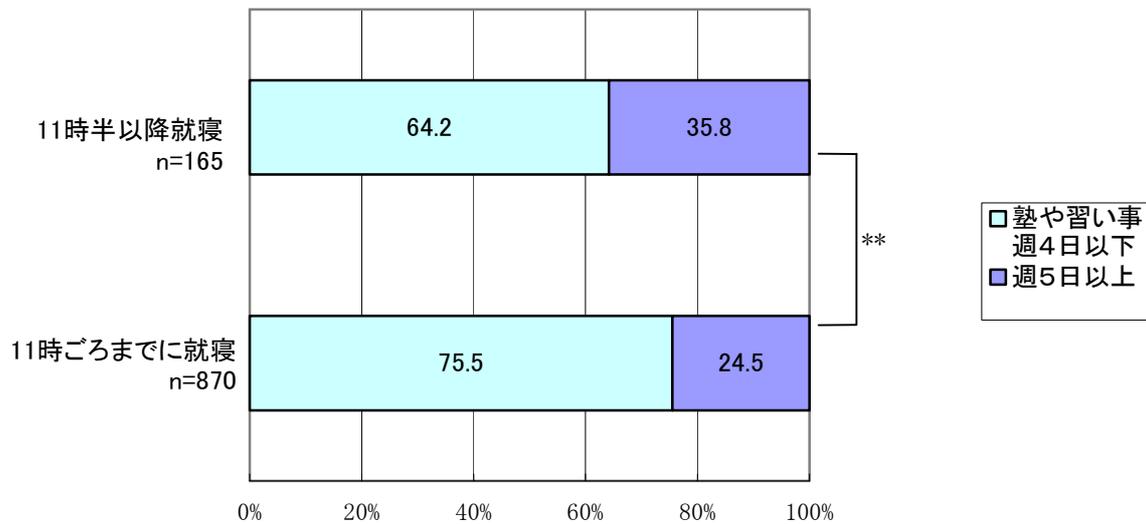


図 3-5-5 就寝時間と「塾や習い事の日数」の関連（小5）



(6) 朝食の摂取

毎日朝食を食べるかどうかは、図 3-6-1 のように、小5で9割、中2で8割は、「毎日食べる」と回答している。中2の方が、「ときどき食べない」「ほとんど食べない」が多くなっている。

また、就寝時間が遅い子どもたちでは、「毎日朝食を食べる」が小5で7割、中2で6割と、少なくなっている（図 3-6-2、図 3-6-3）。遅く寝ることによって、朝、食欲がなかったり、食べる余裕がなくなったりしていると考えられる。

図 3-6-1 毎日朝食を食べるか

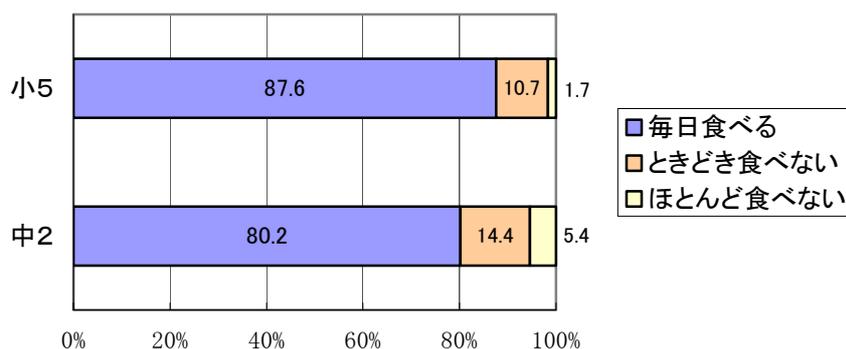


図 3-6-2 就寝時間と朝食の摂取の関連（小5）

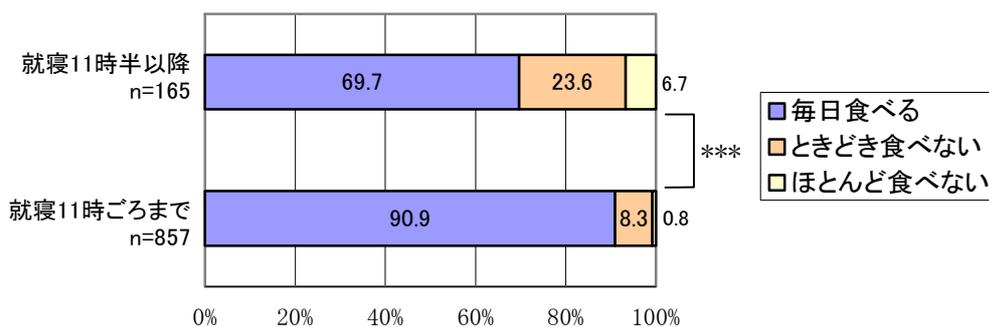
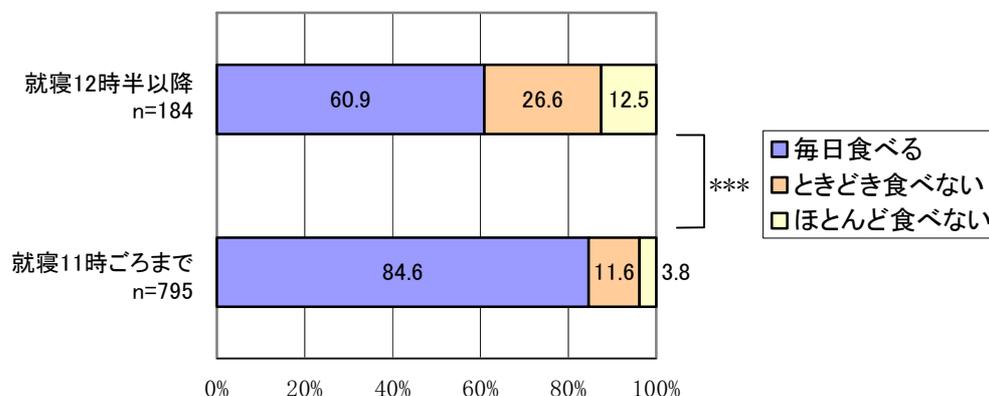


図 3-6-3 就寝時間と朝食の摂取の関連（中2）



(7) 毎日の生活の忙しさ

毎日の生活が忙しいかどうかは、中2のみに質問した。「わりと忙しい」と「とても忙しい」を合わせると、3割ほどあった。女子の方が男子より「忙しい」と感じている子どもの割合が多かった(図3-7-1)。

「塾や習い事の日数」(3(4)参照)との関連をみると、「週4日以上」通っている子どもでは、「とても忙しい」と「わりと忙しい」を合わせると5割あり、「週3日以下」の子どもよりも多くなっている(図3-7-2)。すでにみたように、中2では男子より女子の方が塾や習い事に4日以上通っている子どもの割合が高かったが、このことは、女子の方が「忙しい」と感じている子どもの割合が多いことと関連しているといえる。

図3-7-1 毎日の生活が忙しいか(中2)

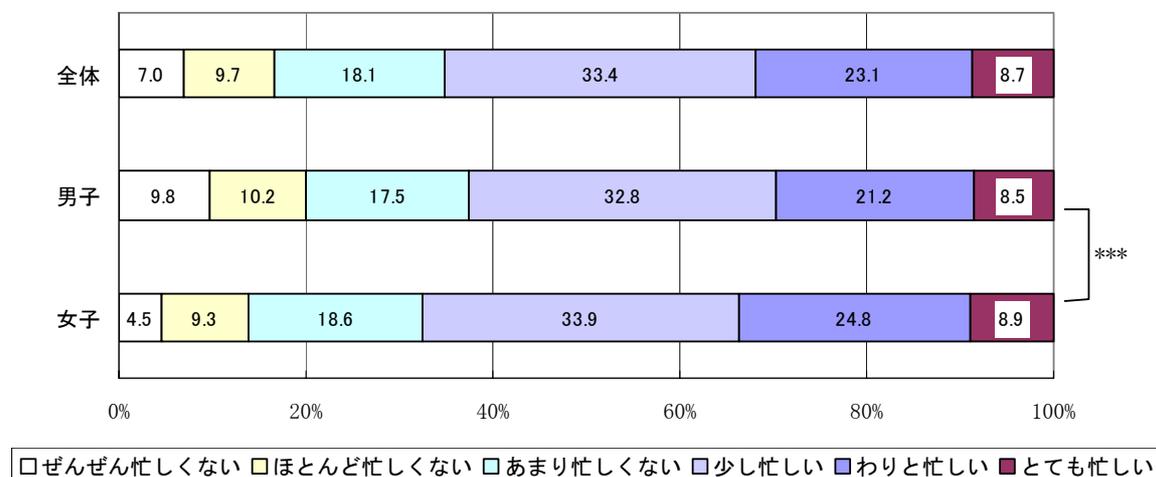
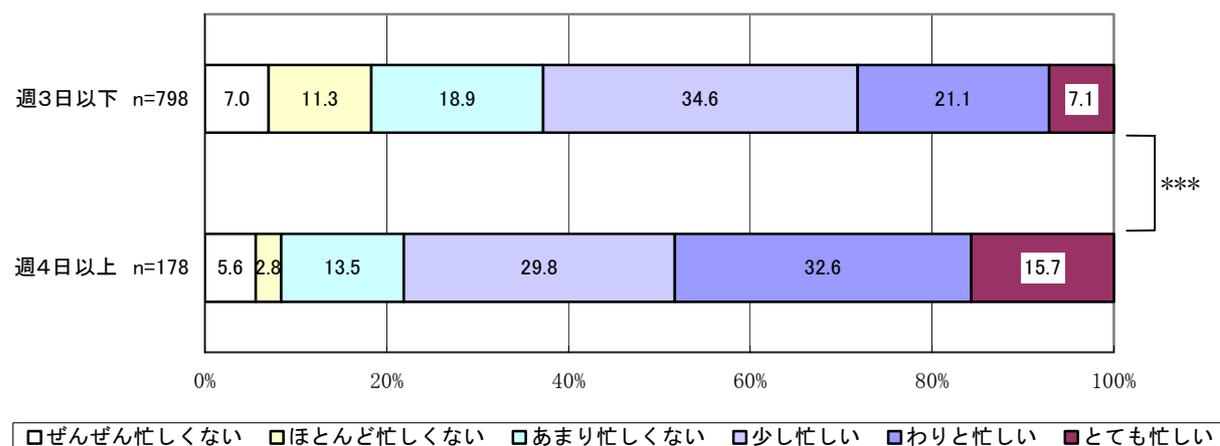


図3-7-2 「毎日の生活の忙しさ」と「塾や習い事の日数」の関連(中2)



(8) インターネットの利用

携帯電話やパソコンでインターネットをどのように利用しているかは、図 3-8-1、図 3-8-2 のとおりである。小5では、「利用したことがない」が2割あるが、中2では1割弱になっている。利用している子どもは、小5では「遊びや趣味で」が最も多く、次いで「学校の授業で」、「学校の宿題のため」、「家族との連絡のため」が多い。中2では、女子は「友達とのメール」が最も多く、男子は「遊びや趣味で」が最も多い。「家族との連絡のため」も、小5に比べて中2が多くなっており、行動範囲が広がったり、夜遅くまでの塾通いが増えたりしていることが影響しているのではないと思われる。「知らない人とのメール」(ブログ、チャット、掲示板を含む)も中2で1割ほどある。

「携帯電話やメールのやりとりで、嫌だと思ったことやストレスを感じたこと」は、図 3-8-3 のように、小5では「ぜんぜんない」が9割であるが、中2では5割になっている。小5より中2の方がメールを利用する子どもが多いこともあるが、中2女子で「ときどきある」「いつもある」が1割あるのは、「友達とのメール」や「知らない人とのメール」との関連があるかもしれない。

図 3-8-1 インターネットの利用 (小5)

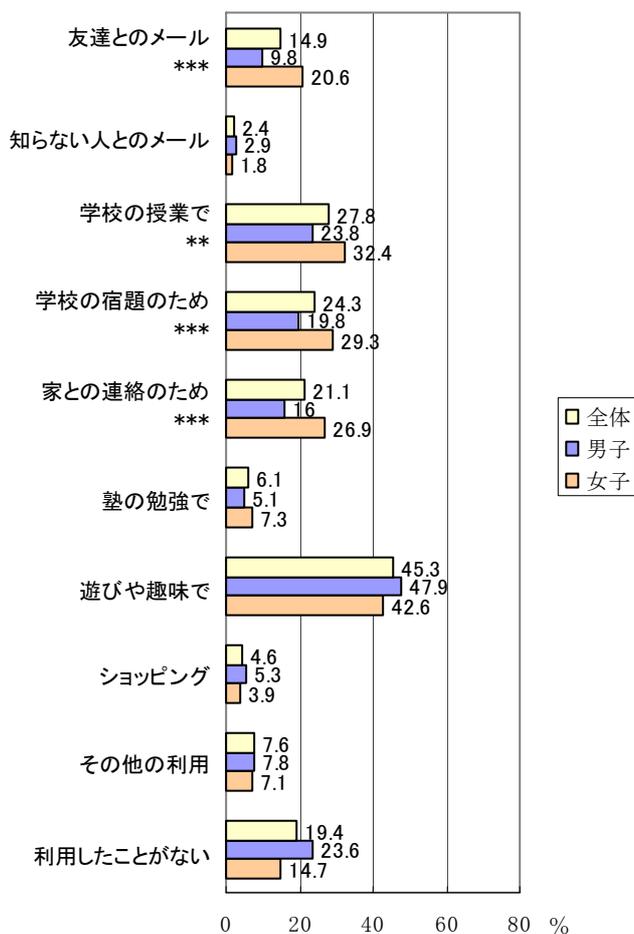


図 3-8-2 インターネットの利用（中2）

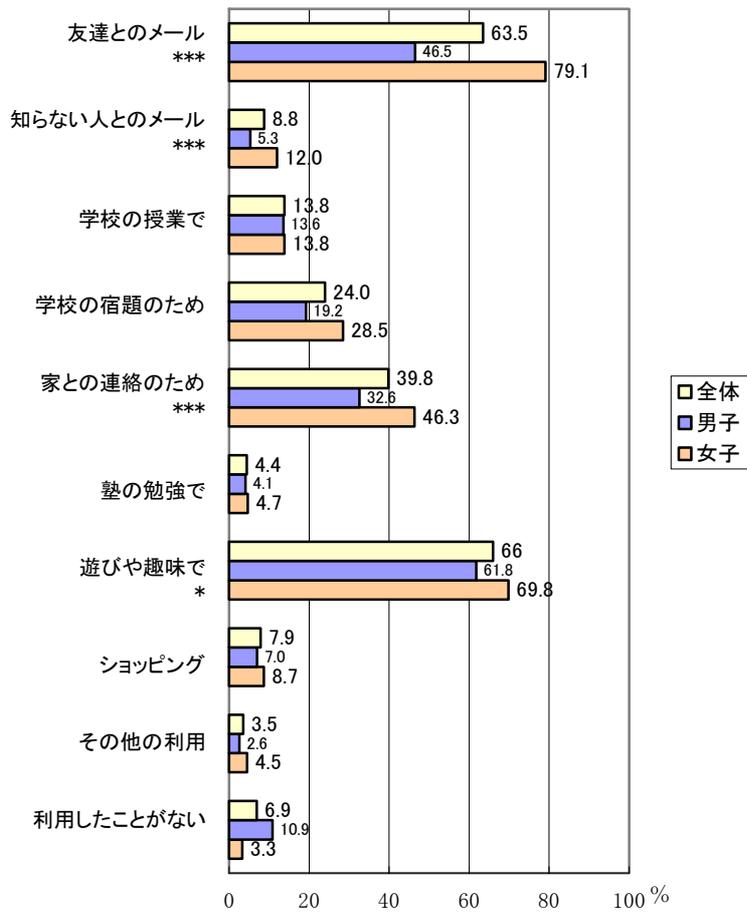
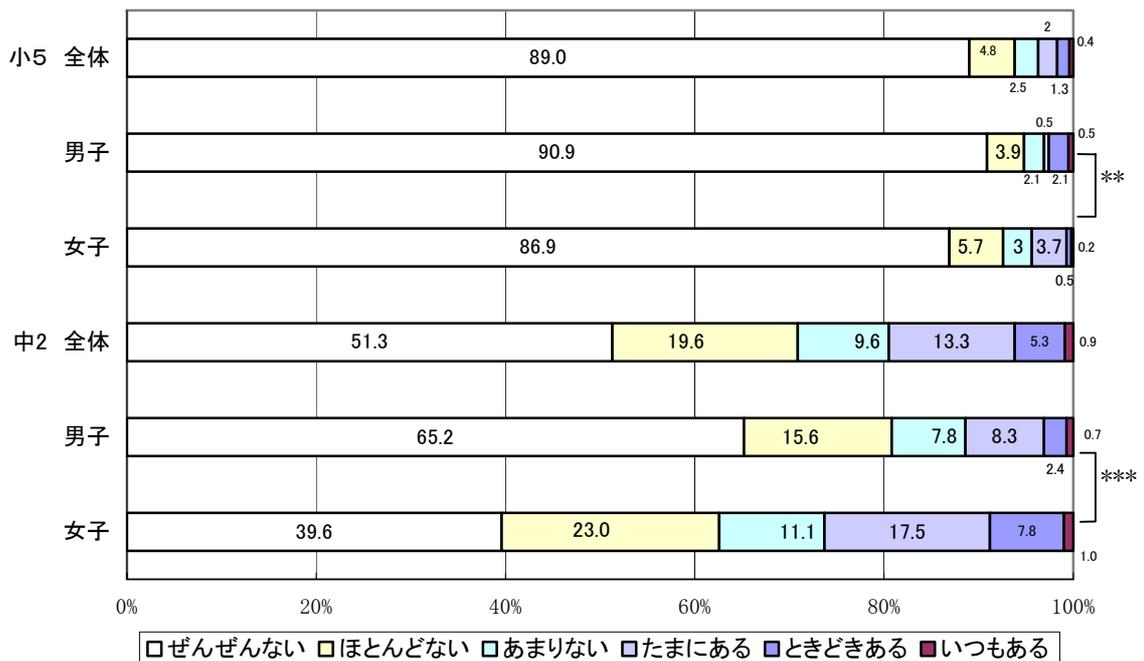
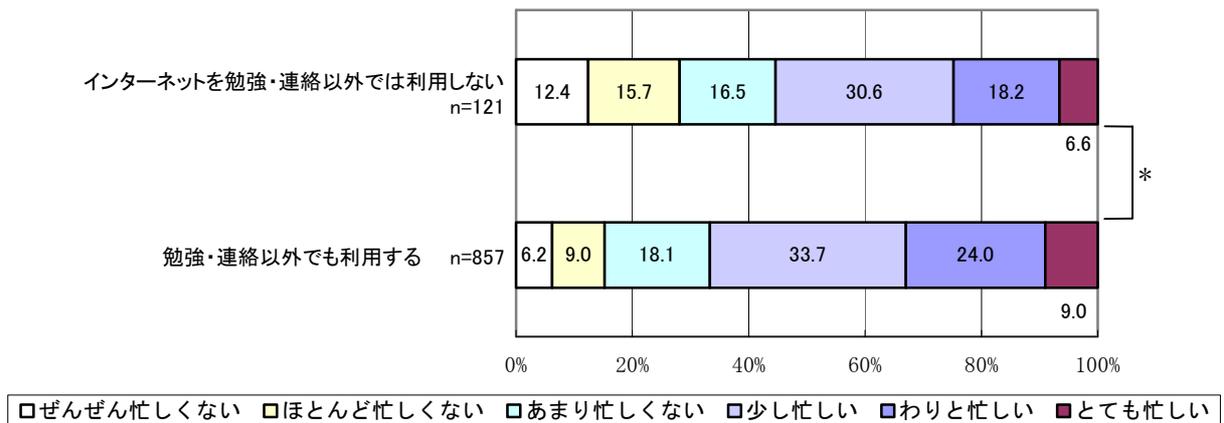


図 3-8-3 携帯電話やメールのやりとりで嫌だと思ったことやストレスを感じたこと



インターネットの利用と「毎日の生活の忙しさ」（中2）の関連をみたのが、図 3-8-4 である。インターネット・メールを、まったく利用しないか学校の授業や宿題、塾の勉強や家族との連絡以外では利用しない子どもと、それ以外の友達や知らない人とのメール（メール、ブログ、チャット、掲示場を含む）や遊びや趣味、インターネットショッピングでも利用する子どもに分けて「毎日の忙しさ」をみると、勉強・連絡以外でも利用する子どもの方が、忙しいと感じている子どもの割合が多かった。

図 3-8-4 インターネットの利用と「毎日の忙しさ」の関連（中2）



(9) 放課後や休日に一緒に遊ぶ友達

学校が終わってからや休みの日に、一緒に遊ぶ仲の良い友達がいるかどうかは、図 3-9-1 のようである。中2の方が小5より若干少ないが、全体で9割の子どもは、「いる」と答えている。男女別では差は認められなかった。

図 3-9-1 放課後や休日に一緒に遊ぶ友達の有無

